

## 京都市・乙訓地域公立高校の新しい教育制度について

### 1. 経過について

今後の京都市・乙訓地域公立高校の教育制度及び入学者選抜制度の在り方を検討するため、平成23年10月、「京都市・乙訓地域公立高等学校教育制度に係る懇談会」を設置し、約1年にわたる幅広い観点からの協議が進められるとともに、約1万1千人の回答を得た生徒・保護者アンケート調査等を経て、昨年8月、「まとめ」が提言された。

「まとめ」を踏まえ、京都府教育委員会とともに策定した「新しい高校教育制度（案）」に対して、昨年11月に意見募集等を実施し、市民・府民の方から提出いただいた452件の意見等も踏まえ、制度の詳細について、府・市教育委員会において更なる検討を行い、今回、「新しい京都市・乙訓地域公立高等学校の教育制度」の具体案を策定した。

今後、本年1月24日、京都府・京都市の両教育委員会において、今回の具体案について審議をいただき、議決を得た後、新制度の内容をまとめたリーフレット等の作成・配布とともに、中学校や高校はもとより、2月下旬には中学生及び保護者の方を対象とした説明会を開催するなど、丁寧な周知・説明を行っていく。

### 2. 新しい教育制度について

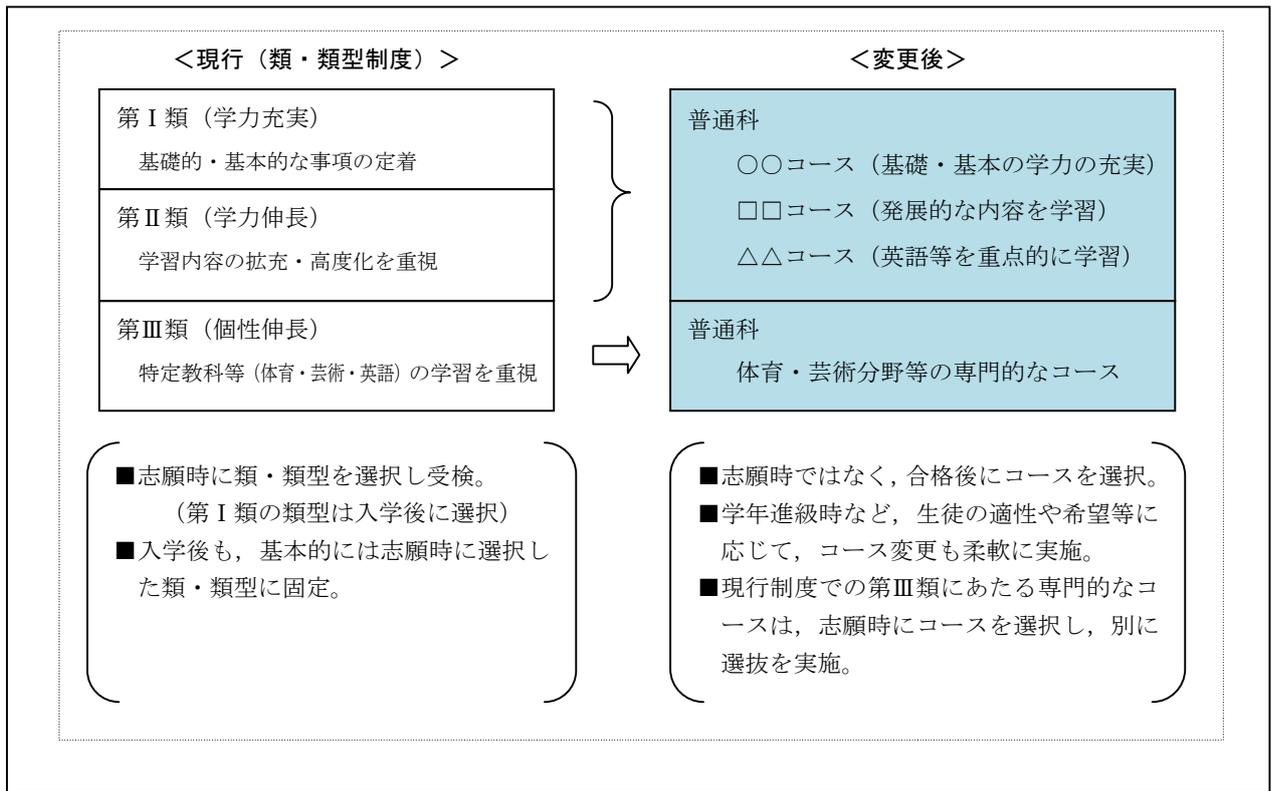
#### (1) 基本的な考え方

- ① 各高校において、特色ある学校づくりを更に推進し、生徒一人一人が望む進路や将来の希望に柔軟に答えられる制度。
- ② 中学生が自らのキャリア形成に向けて、各高校の特色を理解したうえで、目的意識を持って主体的に高校を選択できる制度。

#### (2) 全日制普通科の「類・類型制度」の廃止

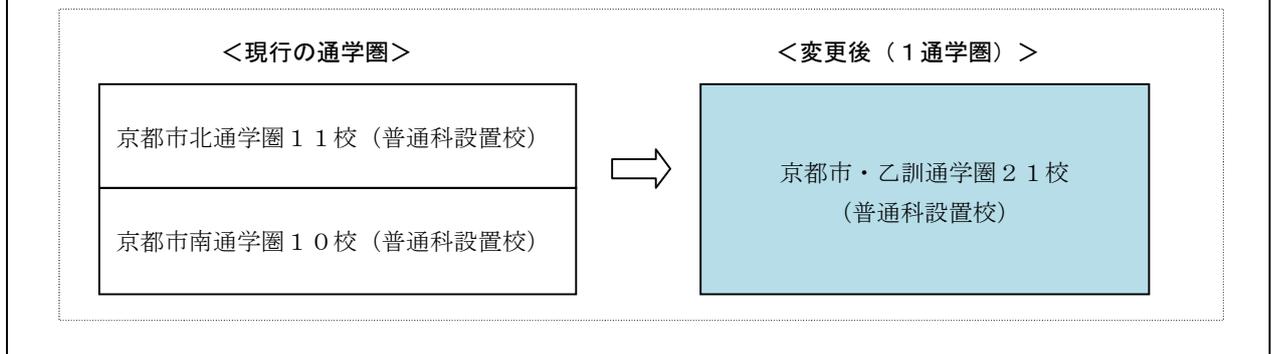
各高校において、特色ある学校づくりをこれまで以上に推進し、生徒一人一人の進路選択により柔軟に答えられるよう、全日制普通科に設置する「類・類型制度」（第Ⅰ類・第Ⅱ類・第Ⅲ類）を廃止し、次のように改める。

- ① 普通科第Ⅰ類と第Ⅱ類を普通科として一つにする。  
⇒各高校は、普通科の中にコースを設置し、生徒自らが能力・適性、進路希望等に応じてコースや教科・科目を選択できるようにする。  
⇒志願時ではなく、合格後に自分に合ったコースを選択できるようにするとともに、学年進級時のコース変更も柔軟に行えるようにする。  
＜コース例＞ ○○コース（基礎・基本の学力の充実。進学や就職等多様な進路に対応。）  
□□コース（発展的な内容を学習。四年制大学進学に対応。）
- ② 普通科第Ⅲ類は、普通科の中の専門的なコースとして存続させる。  
（※ 各高校の設置コースについては、本年2月中を目途に決定・公表する予定。）



### (3) 通学区域の統合（2通学圏から1通学圏へ）

生徒の多様な進路希望に応えるため、より多くの高校から希望する高校を選択できるよう、普通科の通学区域を京都市北・南通学圏（2通学圏）から1通学圏に統合する。このことにより、京都市・乙訓地域のすべての高校の普通科に志願可能となる。

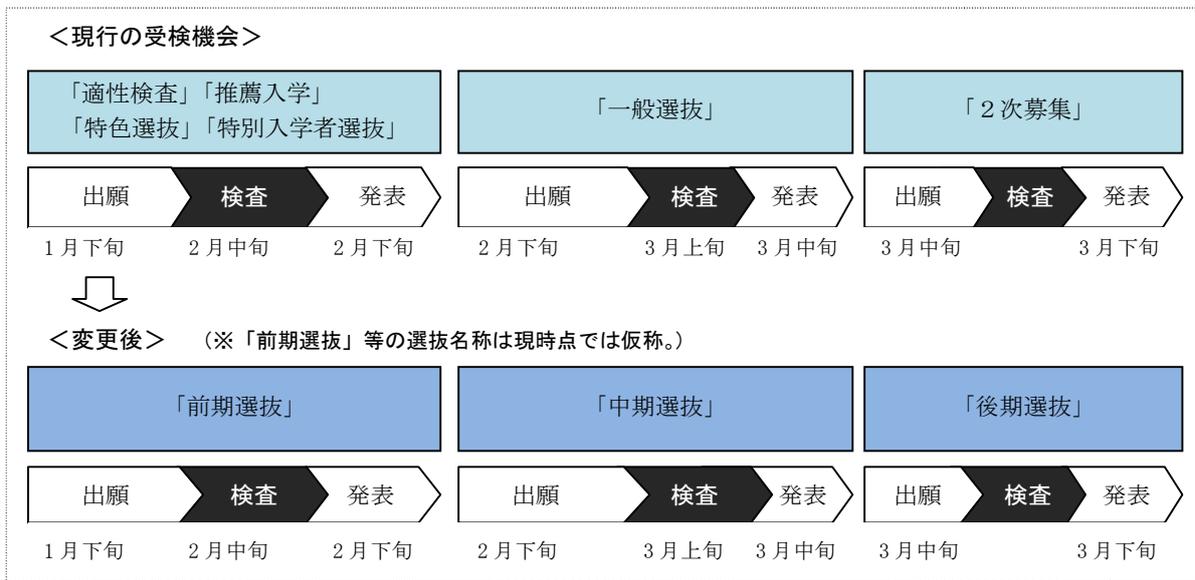


#### (4) 入学者選抜制度

- ①前期・中期・後期の3回の受検機会を確保
- ②「総合選抜制度」を廃止し、「単独選抜制度」を導入

#### ア. 受検機会

前期・中期・後期の3回の受検機会（現行と同様）を設けるとともに、日程も従前どおりとする。



#### イ. 実施方法

##### 【前期選抜】

現行制度で2月に実施している「推薦入学」,「特色選抜」等に相当する受検機会とする。また、学科等によって異なっていた選抜（推薦入学, 特色選抜, 適性検査）は廃止するとともに、多元的な評価尺度による各校裁量の選抜方法のもと、生徒一人一人の多様な個性・能力等を重視する「前期選抜」として、次のように改める。

##### <募集人数>

普通科	<p>募集定員の30%（現行の特色選抜（募集定員の15%）より拡大）</p> <p>前期選抜 30%      中期選抜 70%</p>
専門学科や現行の普通科第Ⅲ類にあたる普通科の専門的なコース	<p>職業に関する専門学科：募集定員の70%（現行50%）</p> <p>前期選抜 70%      中期選抜 30%</p> <p>その他専門学科：募集定員の100%（現行と同様）</p> <p>現行の普通科第Ⅲ類にあたる普通科の専門的なコース：募集定員の100%（現行と同様）</p> <p>前期選抜 100%</p>

## <選抜方法>

普通科	<p>①各高校が学科ごとに合格者を決定する「単独選抜制度」とする。</p> <p>②志願できるのは1校の1学科のみとする。</p> <p>③学力検査、面接、作文（小論文）、報告書、実技検査、活動実績報告書の検査項目を組み合わせたA～C方式（※検査内容は以下。）の中から、学科ごとに2つまで選択し、各高校の裁量により実施する。（ただし、報告書はいずれの方式でも必須とする。）</p> <p>④実施する方式及び各検査項目の配点比率は事前に明示する。</p>
専門学科や現行の普通科第Ⅲ類にあたる普通科の専門的なコース	



### ※ A～C方式の検査内容

<p>A方式 (学力検査を実施する選抜方式)</p>	<p>■必須検査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共通学力検査（国・数・英）または独自学力検査の中から複数教科（あわせて5教科以内）</li> <li>・ 作文（小論文）、面接から学校裁量により1種類または2種類を選択</li> <li>・ 報告書</li> </ul> <p>■学校裁量による選択検査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動実績報告書（部活動・特別活動等）</li> </ul>
<p>B方式 (学力検査を実施しない選抜方式)</p>	<p>■必須検査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 面接</li> <li>・ 作文（小論文）</li> <li>・ 報告書</li> <li>・ 活動実績報告書（部活動・特別活動等）</li> </ul>
<p>C方式 (学力検査と実技検査を実施する選抜方式)</p>	<p>■必須検査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共通学力検査（国・数・英）または独自学力検査の中から複数教科（あわせて5教科以内）</li> <li>・ 実技検査</li> <li>・ 作文（小論文）、面接から学校裁量により1種類または2種類を選択</li> <li>・ 報告書</li> </ul> <p>■学校裁量による選択検査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動実績報告書（部活動・特別活動等）</li> </ul>

※ 現行の「特別入学者選抜」（海外勤務者帰国子女、中国帰国孤児子女、長期欠席者、成人）は、特別な枠として存続させ、原則これまでと同じ方式で実施する。

(※ 各高校が実施する方式や検査内容については、本年2月中を目途に決定・公表する予定。)

## 【中期選抜】

現行制度で3月に実施している「一般選抜」に相当する受検機会とする。また、現行の普通科第Ⅰ類で実施している「総合選抜制度」を廃止し、各高校が学科ごとに合格者を決定する「単独選抜制度」とする。

### <募集人数>

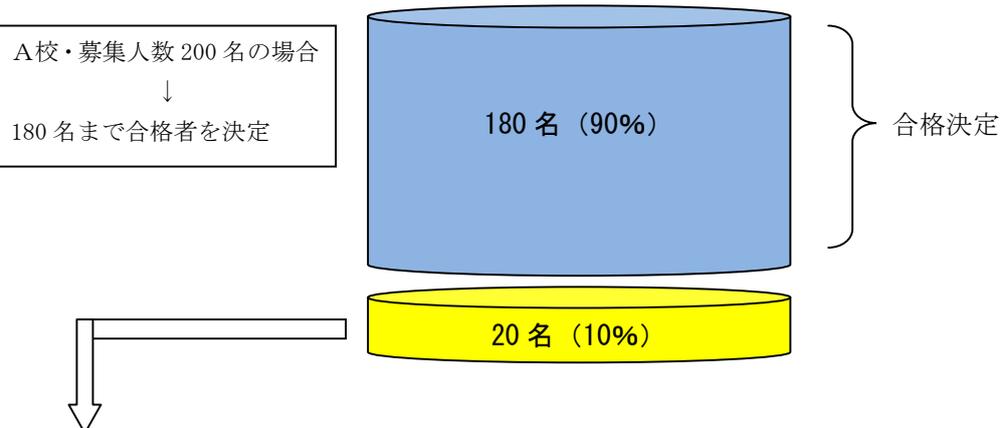
普通科	募集定員から前期選抜の合格者数を除いた数 (概ね募集定員の70%) 
職業に関する専門学科	募集定員から前期選抜の合格者数を除いた数 (概ね募集定員の30%) 

### <選抜方法>

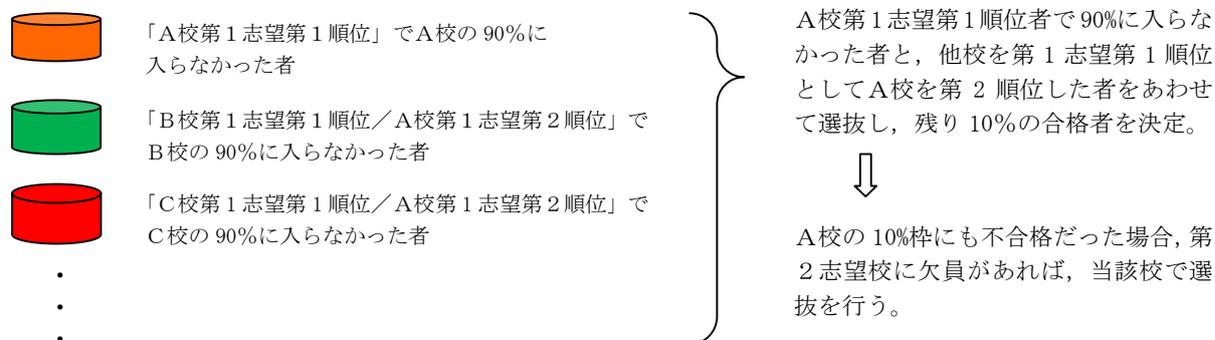
普通科	①各高校が学科ごとに合格者を決定する「単独選抜制度」とする。 ②第1志望第1順位及び第2順位、第2志望と、それぞれ異なる高校(学科)を3つまで志願することができる。なお、普通科と職業に関する専門学科の併願も可能とする。
職業に関する専門学科	③まず「ステップ1」として、各高校で募集人数の上位90%までを第1志望第1順位者で合格者を決定する。 次に「ステップ2」として、募集人数の残り10%について、第1志望第1順位の選抜で上位90%に入らなかった者と、他の高校の第1志望第1順位の選抜で上位90%に入らなかった者で当該高校を第1志望第2順位とする者をあわせて選抜を実施し、合格者を決定する。 ④上記③の後、なお欠員がある高校においては、第2志望者による選抜を実施する。 ⑤全校共通の学力検査(5教科)及び報告書を選抜資料とする。 ⑥学力検査と報告書の配点比率は、概ね1:1とする。

## ■中期選抜方法のイメージ

**STEP 1**・・・各高校において、募集人数の90%まで第1志望第1順位者で合格者を決定。



**STEP 2**・・・各高校において、募集人数の残り10%の合格者を決定。



## 【後期選抜】

現行制度で3月に実施している「2次募集」に相当する受検機会とする。ただし、前期選抜及び中期選抜を実施した後、なお相当の欠員がある場合に実施する。

### <募集人数>

募集定員から前期選抜及び中期選抜の合格者数を除いた数

### <選抜方法>

- ① 各高校が学科ごとに合格者を決定する「単独選抜制度」とする。
- ② 全校共通の学力検査（国・数・英）及び報告書、面接を検査項目とする。
- ③ 検査項目を総合的に判断して合格者を決定する。

## (5) 新制度の実施時期

平成26年度入学者選抜（現在の中学校2年生対象）から実施する。

## 京都市・乙訓地域公立高校の新しい入学者選抜制度のポイント

2月中旬	3月上旬	3月下旬
------	------	------

### ■現在の制度

- ◆推薦入学 <単独選抜>  
全日制の普通科第Ⅱ類(英語系)・第Ⅲ類・総合選択制、専門学科と定時制の一部の学科  
◇各高校独自に学習状況診断テスト・面接・作文等を実施 [報告書は必須]  
◇募集定員の50%または70%を内定
- ◆特色選抜<単独選抜>  
普通科第Ⅰ類  
◇各高校独自に面接・作文等を実施 [報告書は必須]  
◇募集定員の15%を内定
- ◆適性検査  
普通科第Ⅲ類、一部の専門学科  
◇希望する学科等への適性を判断 (適性検査+推薦入学または一般選抜を受検)  
◇各高校が独自に学力検査・実技等を実施
- ◆特別入学者選抜<単独選抜>

- ◆一般選抜  
◇全高校共通の学力検査(5教科)と「報告書」による選抜
- ◇普通科の選抜制度
  - 普通科第Ⅰ類 <総合選抜>  
通学圏ごとに合格者を決定後、原則として、地理的条件を考慮して入学校を決定
  - 普通科第Ⅱ類 <単独選抜>  
各高校(類)ごとに合格者を決定
  - 普通科第Ⅲ類 <単独選抜>  
各高校(類)ごとに合格者を決定

- ◆第2次募集 <単独選抜>  
一般選抜で欠員が生じた場合
- ◇共通の学力検査(3教科)と報告書、面接による選抜



### ■新しい制度 (※選抜名称については仮称)

- ◆前期選抜 <単独選抜>  
全日制の全ての学科等と定時制の一部の学科  
◇募集人数
  - ・普通科は募集定員の30%
  - ・職業系専門学科は募集定員の70%
  - ・旧Ⅲ類の専門的なコース及びその他の専門学科は募集定員の100%
- ◇検査内容  
学力検査、面接、作文(小論文)、報告書、活動実績報告書の検査項目を組み合わせたA~Cの方式の中から各校裁量により実施 [いずれの方式も報告書は必須]  
◇現行「特別入学者選抜」は原則これまでと同様

- ◆中期選抜 <単独選抜>  
◇全高校共通の学力検査(5教科)と報告書による選抜
- ◇普通科の選抜制度
  - ・各高校が合格者を決定する単独選抜制度
  - ・京都市・乙訓地域のどの高校にも志願可能
  - ・それぞれ異なる3つの高校を志願可能
  - ・各校で、まず募集人数の90%まで合格者を決定し、次に残り10%の合格者を決定(2段階で選抜)
- ◇募集人数  
募集定員から前期選抜の合格者数を除いた数

- ◆後期選抜 <単独選抜>  
前期・中期選抜で欠員が生じた場合
- ◇共通の学力検査(3教科)と報告書、面接による選抜